※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

%いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

No. 60

エントリー学校名: 山口県下松市立久保中学校

活動名: 「 地域とともにある学校 」

~ふるさとを愛し地域に貢献する生徒~

解決すべき課題: 地方創生の時代を迎え、生涯にわたってふるさとを愛し、ふるさとに住み、ふるさとを活性化 し、ふるさとの将来を担っていく人材を育てる必要がある。そのためには、いかに「ふるさとを愛する心」を育てるか、 また、ふるさととの関わりを卒業後も継続させるかが課題である。

目標・方針:「地域とともにある学校 |をめざしたコミュニティ・スクールの活動の中で、小中学校が連携し、義 務教育9年間の中で、校区としてのめざす子どもの姿「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる久保っ子」を共 有し、地域と一体となった取組を推進する。小学校段階から、地域からの学校支援をいただき地域に愛されて 育てられた子どもたちが、中学校段階においては、地域への恩返しの意味も含め、各種地域行事に企画段階 から積極的に関わり、地域の一員として責任をもった活動を行う。中学校卒業後も、SNSで積極的に情報 発信を行い、地域との関わりを継続させる。

活動内容:

- ○学校運営協議会に学校や地域の課題解決に主体的に取り組ませるために生徒を参加させる。(写真1)
- ○学校運営協議会は年間4回実施であるが、月1回企画運営のための小会議を行っている。 (写真2)
- ○地域行事等において当事者意識をもたせるために、地域の担当者とともに企画段階から参加させ、運営を行 わせるとともに多くの生徒にボランティア活動としても積極的に関わらせる。(写真3)
- ○地域の伝統文化(「松風太鼓」や「門松づくり」)を継承していく取組を行う。(写真4)
- ○地域の方がもっておられる素晴らしい作品を校内に展示することで、自分のふるさとに誇りをもち、ふるさとを愛 する心を育てる取組を学校運営協議会の方とともに企画運営する。(写真5)
- ○卒業生とSNSを通してつながりを継続させ、卒業後も学校や地域行事に積極的な関わりをもたせる。 (学校運営協議会がSNSを開設し、母校便りとして定期的に学校や地域の様子を知らせている。)

活動の成果:

- ○県教委が毎年実施の生徒意識調査「地域のためにできること」において、変容があった。(グラフ1,2) (グラフ 1:2020 年度の数値が低いのは、新型コロナの影響でボランティア活動を中止したため)
- ○生徒が積極的に地域行事へのボランティア活動に参加するようになった。(写真 6 、写真 7)
- ○学校運営協議会が開設しているSNSに、卒業生からの心温まる投稿が増えてきた。(写真8) (「母校便り」に対する卒業生からの返信メッセージの一部です。)

アピールポイント (アイディアや工夫):

- ○学校運営協議会において、生徒を参加させて熟議を行い、課題解決に効果を上げている。
- ○地域行事等において、企画段階から生徒の代表に関わらせている。
- ○地域の伝統文化継承や地域の方の作品展示を通して、地域に誇りをもちふるさとを愛する心を育んでいる。
- ○地域とのつながりを中学校卒業後も継続させるために、SNSを活用し情報を発信している。
- ○地域とともにめざす子ども像を共有するために、横断幕を制作し、広報にも努めている。(写真9)



こんにちは 四昨年度久保中学 校を卒業した者です

先日、久保中学校の生徒が、高 校生の私に元気な挨拶をしてく れました。

なかなか高校生に挨拶をしてく れる子はいないので、嬉しかっ たと同時に、やっぱり挨拶は気 持ちの良いものだなぁと思いま した。生徒のみなさんは、なか なか挨拶をされることがないの で、まだ私の気持ちがわからな いかもしれません。でも、自分 が挨拶をしてもらう立場になっ たとき、(久保中学校で挨拶を いっぱいやっててよかったな ぁ)と思える日が絶対来ますよ

という話を、1年生等まだ挨拶 の大切さが分かっていない生徒 さんにお伝えいただければ幸い です。



写直6

写直7





写真9



【様式2】